

■令和5年度 検診機関チェックリスト実施率(%)

<胃がん> ※回答検診機関数：3（胃部X線2、胃内視鏡1）		項目数	R4年度	R5年度
1.	受診者への説明	6	100%	100%
2.	問診、胃部エックス線撮影の精度管理、胃内視鏡検査の精度管理	10	100%	100%
3.	胃部エックス線読影の精度管理	5	100%	100%
4.	胃内視鏡画像の読影の精度管理	5	100%	100%
5.	システムとしての精度管理	7	100%	100%
<大腸がん> ※回答検診機関数：2		項目数	R4年度	R5年度
1.	受診者への説明	6	100%	100%
2.	検査の精度管理	3	100%	100%
3.	検体の取り扱い	7	100%	100%
4.	システムとしての精度管理	6	100%	100%
<肺がん検診> ※回答検診機関数：3		項目数	R4年度	R5年度
1.	受診者への説明	7	100%	100%
2.	質問（問診）、及び撮影の精度管理	11	100%	100%
3.	胸部エックス線読影の精度管理	8	95.8%	95.8%
	(2)読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は要件を満たしているか	-	66.7% (2/3機関)	66.7% (2/3機関)
4.	喀痰細胞診の精度管理	7	95.0%	94.7%
	(5)がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか。	-	66.7% (2/3機関)	66.7% (2/3機関)
5.	システムとしての精度管理	8	90.5%	95.8%
	(1)受診者への結果通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内にしたか	-	66.7% (2/3機関)	66.7% (2/3機関)
<乳がん検診> ※回答検診機関数：2		項目数	R4年度	R5年度
1.	受診者への説明	6	100%	100%
2.	問診及び撮影の精度管理	12	100%	95.8%
	(12)検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保したか	-	100%	50.0% (1/2機関)
3.	乳房エックス線読影の精度管理	4	100%	87.5%
	(2)二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影したか	-	100%	50.0% (1/2機関)
4.	システムとしての精度管理	7	100%	100%
<子宮頸がん（細胞診）> ※回答検診機関数：2		項目数	R4年度	R5年度
1.	受診者への説明	7	100%	100%
2.	検診機関での精度管理	11	86.4%	86.4%
	(4)細胞診検査の業務（細胞診の判定も含む）を外部に委託する場合、その委託機関（施設名）を仕様書に明記したか	-	50.0% (1/2機関)	50.0% (1/2機関)
	(6)検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関でその原因等を検討し、対策を講じたか	-	50.0% (1/2機関)	50.0% (1/2機関)
3.	細胞診判定施設での精度管理	5	90.0%	90.0%
	(5)標本は少なくとも5年間は保存しているか	-	100%	50.0% (1/2機関)
4.	システムとしての精度管理	7	83.3%	78.6%
	(5)自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、CIN3以上発見率、CIN3以上の陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握したか	-	50.0% (1/2機関)	50.0% (1/2機関)
	(6)プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討したか	-	50.0%	50.0% (1/2機関)
	(7)都道府県的生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めたか	-	(1/2機関)	50.0% (1/2機関)